



共同募金のお礼

和気地区共同募金会会長 野間英雄

昨年10月1日から12月31日まで実施いたしました赤い羽根共同募金運動に、皆様よりご理解ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。
地区の町内会・自治会はもとより、事業所及び大口募金者の方々のご協力に心より感謝申し上げます。
ここに募金の実績を報告し、紙面ではありますが、お礼とさせていただきます。今後とも共同募金運動にご協力を賜りますようお願い申し上げます。

募金集計額 2,045,100 円

(順不同・敬称省略)

【和気地区町内会】

馬 木
松 原
太山寺
昭和団地
大洲東
勝 岡

【馬木町】

善福寺
(株)ニイナイ実業
アトラス馬木
(有)大日石材
(有)元五郎
堅田茂美
渡部 宰
野本泰夫
矢野千恵香
須賀祐一郎

【和気町1丁目】

政田商店
白形医院
アスク動物病院
三栄クリーニング
門間自動車
芳野浩三
芳野昌宏

【勝岡町】

ばら美容室
MS日吉鋼材(株)
愛媛新聞エリアサービス
伸和環境(株)
つくし・RO・HA
岡本公平
植田輝久

【太山寺町】

太山寺土地改良区
オオノ開発(株)
(有)門間設計事務所
(株)芳野電業
嶋矢トミ子
尾田サエミ
(株)松山土木工業
岡田歯科医院
助六食品(株)
サービス付高齢者住宅アンジャンテ
濱田澄江

【和気町2丁目】

門屋自動車
松山ポートセンター(有)
浜岡新二
永井 敏
河内正利

【共賛者】

小田原寛(聾学校)
黒田常人(和気小)
なごみ
居酒屋わはは
高橋洋之(駐在)
松岡静子

【社会福祉協議会】

白石知史(和気支所長)

【民生児童委員協議会】

野間英雄
柴田寿子
太田正男
芳野金吾
坂本文美
芳野俊明

和気1丁目
和気団地
小 山
太山寺4丁目
太山寺団地

和気浜
大 洲
清 和
学校南
三光団地

朝 汐
片 廻
みどりヶ丘
城北団地
幸風苑

中央包装システム(株)
ローソン馬木
アトラス高木
矢野英俊
野間行政書士事務所
大内博久
矢野秀則
野間益長
崎山幸広
玉井孝徳

ヘアステーションアエル
セントケア四国
hair craft moku
カットサロンリーフ
矢野真理子
片山敏之
松下 浩
矢野絹代
矢野真喜

(株)フォーデック四国支社
はしもと脳神経外科
井関農機(株)
寿楽 職員
(有)矢野設備
レディ薬局馬木店
木戸徳彦
和 氣 齊
矢野真二

小規模多機能ホーム つむぎ
和気浜土地改良区
JAえひめ物流(株)
平井こどもクリニック
ニューマートよしの
芳野光男
東 蔵人

和気郵便局
萬国堂
(株)パルティ・フジ和気店
(株)芳之内ガス
兵頭育子
矢野一郎
矢野大二

上松プロパン(株)
円明寺
大木錠店
芳野洋文
須賀 勲
芳野 徹
政田昌三

柳原賢祐
(有)芳之内設備
(株)フードサポート四国ヨシケイえひめ事業所
愛媛合同物流(株)
グループホームなぎ
利岡真市
野本 均

南海産業(株)
(株)ヒロセファーマ
ニッセン・グルヒーフ(株)
勝岡興業
大野幸弘
岡本桂成
田中光直

三共産業(株)
勝岡よねだ内科
(株)共同建設工業
のぞみホームズ
小笠原謙二
岡 光雄

太山寺歯科医院
七福石材
大地の母 太山寺
田中克彦
大島ヒデ子
三津山 武
鶴久森 克
たいさんじ整形外科
松山市農協和気支所
大森内装
西川鐵雄

(有)西条工業所
太山寺
楓華
竹の郷 職員
渡部栄子
三津山和子

フジモト塗装
和気クリニック
山本設備(株)

ロープコーポレート
小池養蜂園
(有)カワハラ
三好重子
小池邦夫
凜

西村建設(有)
城本タイル工業

理容ミロ
愛媛セルフペイント(株)
横山昌子
笹田秀夫
芳之内克暢

共立自動車(株)
横塚製作所
ピーチピット
芳之内晃匡
松本賢司

カットハウスぽびい
ファミリーマート和気
島マリン
牟田博光

蒲池慎一(みなら城北分校)
(有)若葉
シンジョイ
(株)上陣
吉野真司
松村幸恵

森田功一(北中)
島田工業(株)
四国家具運送(有)
和気地区自主防災組織連合会
戒田美典
水野勝洋

池田浩二(内宮中)
(株)寺田商店
ケンゾウのお店

赤松居久子
長野健二

芳之内淑子

小池昭秀

友草 健
梶村静夫
松浦留美
越智美知子
栗田鈴子
崎飯ゆきえ

松浪満里子
須之内多恵子
山崎栄一
芳之内 準
武智清二
門間隆幸

大野勝利
矢埜早苗
渡部和久
宮本廣重
高川かおり

和気社協だより

令和4年2月25日 第8号
発行 和気地区社会福祉協議会

和気の現況 令和4年2月1日現在

人 口	11,557 人
世 帯 数	4,853世帯
高 齢 化 率 (65歳以上)	31.0%
年少人口率 (15歳未満)	13.1%

民生児童委員の活動

民生児童委員 渡部 和久

私たち民生児童委員は、和気地区に笑顔をお届けしています。住民の立場に立って、身近な相談相手、見守り役として、住民からの生活上の心配ごとや困りごと、医療や介護、子育ての不安などの相談に応じています。そして、その課題が解決できるよう、関係機関への「つなぎ役」になっています。また、定期的な訪問を通じて、高齢者や障がい者世帯の見守りを行っています。登下校中の子供を見守ったり、遊び場の危険箇所を点検する等、子供たちの安全を守るための活動をしています。他にも災害に備えた活動や行政への協力、共同募金等、さまざまな活動を行っています。

そうした中、私が住んでいる「片廻」での具体的活動としましては、独居高齢者へ月2回の定期訪問しています。和気地区民児協定例会や和気公民館の定期行事(独居老人安否確認パトロール、青色防犯パトロール、防災訓練)にも参加し、地域の安全・安心に取り組んでいます。10月には共同募金活動として、地区の企業を中心に訪問し、募金活動を実施しています。また、平成30年7月の西日本豪雨の際に、私の体験

談として、「片廻」を流れる川の水位が危険と判断して、住民7人を複合福祉施設「竹の郷」に避難誘導を行い大変感謝された記憶があります。後に、災害に備えて「片廻」と「竹の郷」との間に、「災害時の避難所施設としての使用に関する協定」を締結するに至りました。今後も社会的弱者に寄り添って、和気地区住民の皆様が、安全・安心で笑顔が広がるように社会福祉の増進に日々、努めて参りたいと思います。



地区独居高齢者定期訪問



和気地区児童・生徒の見守り活動



和気地区独居老人安否確認パトロール



和気地区青色防犯パトロール

「松原ふれあいサロン」の活動

「松原ふれあいサロン」代表 木戸 幸子

「松原ふれあいサロン」は、毎月2回活動しています。「いらっしゃい！」の声かけから始まります。介護予防メニューの体操・片足開眼立ちは、毎回実施しています。活動のメインはディスコン・カラオケやレク財を使用したレクリエーションです。プログラムは毎回変えて活動しています。

現在は新型コロナ感染症防止のため、松山市の社会福祉協議会より活動中止の通達があり、活動していません。

中止以前には、紙芝居や民話も取り上げました。紙芝居

や民話は会員以外の地域の方々の前でも披露し、子どもたちも多数集まり、大変好評でした。絵手紙は当初、参加者が少なく残念でしたが、回を重ねることに人数が増え援助員の励みになっています。

コロナが少し落ち着いた昨年末、マスクを外して参加者全員で記念撮影をしました。撮影後、この1年の漢字を発表し合い、それぞれの思いに耳を傾けました。発表した思いは、次のとおりです。

- 和 皆さんと仲良くしてもらってうれしい。
- 忍 認知症の夫を家族と共に支えている。
- 新 何もかも新しいことばかり。笑顔が絶えないサロン。
- 友 大切な友。旅行や会食、楽しい日々はいつ戻る。
- 無常 良いことも悪いことも続かない。コロナを乗り越え、明るい世に。
- 健 元気継続の為に毎日、ウォーキングを楽しむ。
- 祈 不幸なことが続き、祈りの1年でした。



ステップ昇降運動

〔会員2人の紹介〕

○ 毎年、参加回数の1番多いSさんは「サロンで沢山の友達ができ、すごく楽しい。これからいろいろなことに挑戦したい。」とコメントされました。

○ 1年の漢字を「忍」と書いたOさんは、昨年末に急きょ入院されました。主治医から「先ずは自分を大切に。忍耐はしないこと。」のアドバイスがあったそうです。

コロナが早く収束して、サロンが再開され、会員の皆様と笑顔で会えることを楽しみにしています。



夏祭り紙芝居



手描き風ステンシル



参加者全員で記念撮影

第14回大声大会

和気地区では、常日頃から火事や地震等に対する危機意識・防災準備の対処方法などの情報共有を行っています。防災意識を高揚して自助・共助の体制づくりを醸成する目的で始めた「大声大会」は、令和3年7月22日「海の日」に第14回目が和気浜海岸で開催されました。恒例となったこのイベントでは、「火事だー！」とか「津波だー！逃げろー！」等の防災に関する言葉を如何に大声で叫ぶかを競いました。大声の大きさは、デシベルという単位で数値を表示出来る装置を用いて測定しました。中には110デシベルを超える音量に達する人もいて、文字通りの「大声」に観客から大きな拍手が送られていました。

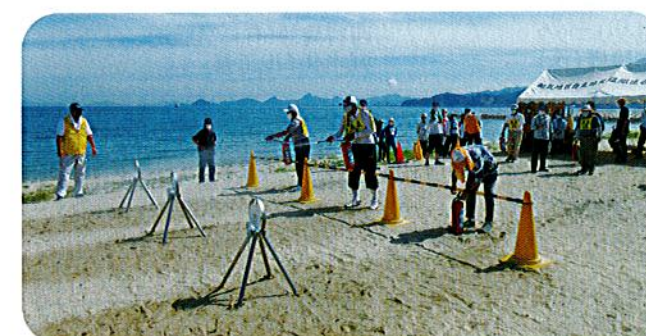


「高齢者」の部

2022年1月22日の午前1時08分頃に発生した日向灘地震は、マグニチュード6.4の強度で松山市では震度4を観測したのは記憶に新しい事です。想定されている南海トラフ巨大地震の領域内で発生したとの事でした。その地震が直接南海トラフ巨大地震に繋がる事は無いとの事です。南海トラフ巨大地震では瀬戸内沿岸で最大で3.9メートルの津波が予想されており、非常に大きな被害がもたらされる地域内に含まれていますので備えておく必要があります。



「子供」の部



水消火器訓練

同大会では、声量の大きさを競うイベントの他、消火訓練を兼ねて、水消火器を用いて如何に短時間で水消火器からの放水を的に当てて倒すかの競争も行われました。大声大会に出場した全員が水消火器訓練にも参加しました。

同大会に出場した選手たちの多くは、実際に地震や火災などの災害に遭遇した際には本日の経験を生かして、大声で呼び掛けたりしたいと語っていました。

注) 命を守るために、地震への備えについて

内閣府及び気象庁では、地震に備えて、●家具の固定 ●非常用持ち出し袋の準備 ●水や食料の準備 ●避難場所や避難経路の確認 ●感電ブレーカーの設置 ●建物の耐震化 などを呼び掛けています。